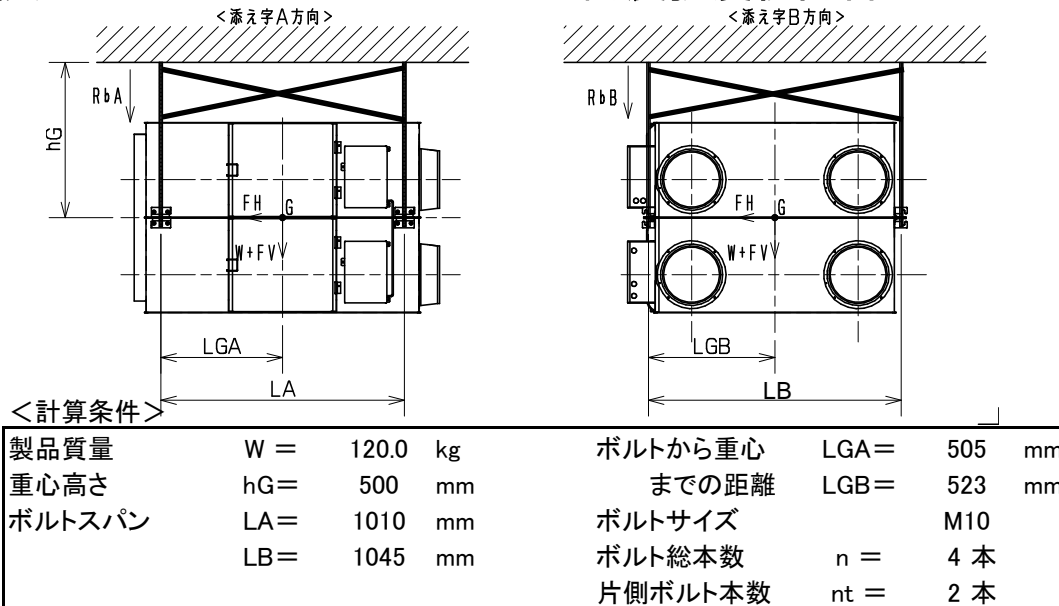


■業務用ロスナイ LGH-N150RXD 耐震強度検討書



各設計用標準震度、地域係数に対する計算結果				
設計用標準震度	KS	1.0	1.5	2.0
地域係数	Z	1.0	1.0	1.0
設計用水平震度	KH=KS×Z	1.0	1.5	2.0
設計用水平地震力	FH=KH×W	1.18 kN	1.76 kN	2.35 kN
設計用鉛直地震力	FV=FH/2	0.59 kN	0.88 kN	1.18 kN
アンカーボルト引抜力	$Rb = \frac{FH \times hG + (W \times 9.8 + FV) \times (L - LG)}{L \times nt}$ * L: LA又はLB、LG: LGAまたはLGB	・ボルトスパンA側(RbA) 0.73 kN 0.95 kN 1.17 kN ・ボルトスパンB側(RbB) 0.72 kN 0.94 kN 1.15 kN		
アンカーボルトせん断応力度	$\tau = \frac{FH}{n \cdot A}$ A: ボルト断面積 M10 0.55cm ²	0.53 kN/cm ²	0.80 kN/cm ²	1.07 kN/cm ²
各アンカーボルトの短期許容引抜荷重に対する安全率 (コンクリート厚さ120mm以上)				
あと施工金属拡張アンカーボルト(おねじ形) 埋込長さ45mm	短期許容引抜荷重: 3.8 kN	5.2 倍	4.0 倍	3.2 倍
各アンカーボルトの短期許容せん断応力度に対する安全率				
ボルト(SS400)	短期許容せん断応力度: 10.1 kN/cm ²	18.9 倍	12.6 倍	9.4 倍
ステンレスボルト(A2-50)	短期許容せん断応力度: 9.12 kN/cm ²	17.1 倍	11.4 倍	8.5 倍
以上の計算結果において、上記アンカーボルトM10はいずれも十分な強度を有する				

- ・「建築設備耐震設計・施工指針 2014年度版」を参照しています。
- ・本検討書は上記条件を元にしたアンカーボルトについての強度検討書であり、製品の耐震強度を保証するものではありません。
- ・「建築設備耐震設計・施工指針 2014年度版」に遵守した施工をお願いします。

N13HBGT0223B